

2023年度 自己評価表（健生ナーサリー） （職員用）

保育士：5名、子育て支援員：1名、事務員：1名 調理員：1名、看護師：1名
※各職員の職種で実際に担当する内容にのみ回答とした。

本評価表（保育所用）は、厚生労働省が策定した「保育所における自己評価ガイドライン（2020年改訂版）」に基づき、小規模保育事業における自己評価です。

評価項目は、ガイドラインの4つの観点に基づいています。

観点1：子どもの健康、安全、及び福祉の増進
（健康管理、安全管理、栄養管理、環境整備、個別の支援）

観点2：子どもの健全な育成
（人間関係の形成、環境への関心、言葉の理解と使用、身体の発達、知的好奇心）

観点3：保護者との連携
（情報提供、意見交換、協力）

観点4：保育所の運営
（経営管理、人事管理、施設管理、研修）

評価方法は、各項目について、A（Yes）、B（No）の2択の評価基準に基づいて評価を行います。

2択評価においては、曖昧な評価とならないよう、可否の2択とし評価を実施します。

評価日：令和 6年 5月 13日

作成者名：竹中 敬一郎

第1 保育所の理念、基本方針

評価項目	評価	人数
保育所の保育理念（保育目標）や基本方針を読んだことがありますか。	未	0
A) 保育所の保育理念（保育目標）や基本方針を読んだことがある。	A	8
B) 保育所の保育理念（保育目標）や基本方針を読んだことがない。	B	0
保育所の保育理念（保育目標）や基本方針を理解していますか。	未	0
A) 保育所の保育理念（保育目標）や基本方針を理解している。	A	7
B) 保育所の保育理念（保育目標）や基本方針を理解していない。	B	2

第2 保育所の運営管理

評価項目	評価	
保育所における自分自身の役割や責任の範囲などを理解していますか。	未	0
A) 自分自身の役割や責任の範囲を理解している。	A	9
B) 自分自身の役割や責任の範囲を理解していない。	B	0
なごや子どもの権利条約（令和2年4月1日改定）を知っていますか。	未	0
A) なごや子どもの権利条約（令和2年4月1日改定）を知っている。	A	4
B) なごや子どもの権利条約（令和2年4月1日改定）を知らない。	B	5
個人情報の保護や守秘義務に関して理解していますか。	未	0
A) 個人情報の保護や守秘義務に関して理解している。	A	9
B) 個人情報の保護や守秘義務に関して理解していない。	B	0
職員会議などに参加し、その会議の内容について理解していますか。	未	1
A) 職員会議などに参加し、会議の内容についても理解できている。	A	7
B) 職員会議などに参加していない、または会議の内容を理解していない。	B	1

第3 保育の内容

評価項目	評価	
子どもの発育や発達の状態、家庭での食事、睡眠などの状態について保護者から情報を得るようにしていますか。	未	2
A) 保護者から情報を得るようにしている。	A	7
B) 保護者から情報を得ていない。	B	0
登園時、子どもの健康観察（機嫌、顔色など）を行っていますか。	未	2
A) 子どもの健康観察を行っている。	A	7
B) 子どもの健康観察を行っていない。	B	0
保育中、子どもの様子（機嫌や食欲など）の把握していますか。	未	2
A) 子どもの様子を把握している。	A	7
B) 子どもの様子を把握していない。	B	0
一人ひとりの子どもの生理的欲求（食欲や睡眠など）が満たされるよう配慮していますか。	未	2
A) 生理的欲求が満たされるよう配慮している。	A	7
B) 生理的欲求が満たされるよう配慮していない。	B	0
登園時、子どもの状況に応じて、抱いたり、優しく声を掛けたりしていますか。	未	2
A) 抱いたり、優しく声を掛けている。	A	7
B) 抱いたり、優しく声を掛けていない。	B	0
子どもとの温かなやり取りやスキンシップを心がけていますか。	未	2
A) 温かなやり取りやスキンシップを心がけている。	A	7
B) 温かなやり取りやスキンシップを心がけていない。	B	0

第3 保育の内容

評 価 項 目	評 価	
子どもが、いつでも安心して休息できる雰囲気づくりを心がけていますか。	未	2
A) 子どもが、いつでも安心して休息できる雰囲気づくりを心がけている。	A	7
B) 子どもが、いつでも安心して休息できる雰囲気づくりを心がけていない。	B	0
子ども一人ひとりに分かりやすく温かな言葉で、おだやかに話しかけていますか。	未	2
A) 子ども一人ひとりに分かりやすく温かな言葉で、おだやかに話しかけている。	A	7
B) 子ども一人ひとりに分かりやすく温かな言葉で、おだやかに話しかけていない。	B	0
一人ひとりの子どもが、伸び伸びと遊べるよう見守っていますか。	未	2
A) 一人ひとりの子どもが、伸び伸びと遊べるよう見守っている。	A	7
B) 一人ひとりの子どもが、伸び伸びと遊べるよう見守っていない。	B	0
いろいろな遊びの中で、全身を使って体を動かすことができるよう配慮していますか。	未	2
A) いろいろな遊びの中で、全身を使って体を動かすことができるよう配慮している。	A	7
B) いろいろな遊びの中で、全身を使って体を動かすことができるよう配慮していない。	B	0
戸外（公園や広場など）でのいろいろな遊びを意欲的に楽しむことができる機会を設けていますか。	未	2
A) 戸外（公園や広場など）でのいろいろな遊びを意欲的に楽しむことができる機会を設けている。	A	6
B) 戸外（公園や広場など）でのいろいろな遊びを意欲的に楽しむことができる機会を設けていない。	B	1
いろいろな活動に親しみ、保育者や友達と楽しんで遊ぶことができるよう工夫していますか。	未	2
A) いろいろな活動に親しみ、保育者や友達と楽しんで遊ぶことができるよう工夫している。	A	7
B) いろいろな活動に親しみ、保育者や友達と楽しんで遊ぶことができるよう工夫していない。	B	0
衣類の着脱や排泄などを自分でできるよう、子どもの発達に応じて、丁寧に優しく援助していますか。	未	2
A) 衣類の着脱や排泄などを自分でできるよう、子どもの発達に応じて、丁寧に優しく援助している。	A	7
B) 衣類の着脱や排泄などを自分でできるよう、子どもの発達に応じて、丁寧に優しく援助していない。	B	0
いろいろな遊びや活動の中で、子どもが自分なりに考えて行動できるよう配慮していますか。	未	2
A) いろいろな遊びや活動の中で、子どもが自分なりに考えて行動できるよう配慮している。	A	6
B) いろいろな遊びや活動の中で、子どもが自分なりに考えて行動できるよう配慮していない。	B	1
子どもが、自分でできることは自分でしようとする意欲や姿勢を十分に見守っていますか。	未	2
A) 子どもが、自分でできることは自分でしようとする意欲や姿勢を十分に見守っている。	A	7
B) 子どもが、自分でできることは自分でしようとする意欲や姿勢を十分に見守っていない。	B	0
子どもが、自分でできたという充実感や達成感を味わうことができるような活動を取り入れていますか。	未	2
A) 子どもが、自分でできたという充実感や達成感を味わうことができるような活動を取り入れている。	A	6
B) 子どもが、自分でできたという充実感や達成感を味わうことができるような活動を取り入れていない。	B	1
子どもが、物事には良いことや悪いことがあることに気付いていくことができるよう援助していますか。	未	2
A) 子どもが、物事には良いことや悪いことがあることに気付いていくことができるよう援助している。	A	5
B) 子どもが、物事には良いことや悪いことがあることに気付いていくことができるよう援助していない。	B	2
子どもが、全身を介して直接自然と触れ合う体験をする機会を設けていますか。	未	2
A) 子どもが、全身を介して直接自然と触れ合う体験をする機会を設けている。	A	5
B) 子どもが、全身を介して直接自然と触れ合う体験をする機会を設けていない。	B	2
子どもが、自然に対する驚き、自然の美しさに感動する気持ちを抱かせるような援助をしていますか。	未	2
A) 子どもが、自然に対する驚きや、自然の美しさに感動する気持ちを抱かせるような援助をしている。	A	7
B) 子どもが、自然に対する驚きや、自然の美しさに感動する気持ちを抱かせるような援助をしていない。	B	0
子どもが、いろいろなものに触れながら、その性質や仕組みに興味を持てるよう配慮していますか。	未	2
A) 子どもが、いろいろなものに触れながら、その性質や仕組みに興味を持てるよう配慮している。	A	6
B) 子どもが、いろいろなものに触れながら、その性質や仕組みに興味を持てるよう配慮していない。	B	1

第3 保育の内容

評 価 項 目	評 価	
子どもの発達や理解力などに合わせた言葉を使うよう心がけていますか。	未	2
A) 子どもの発達や理解力などに合わせた言葉を使うよう心がけている。	A	5
B) 子どもの発達や理解力などに合わせた言葉を使うよう心がけていない。	B	2
子どもの表情や姿をよく観察し、その場に適した言葉がけをするよう心がけていますか。	未	2
A) 子どもの表情や姿をよく観察し、その場に適した言葉がけをするよう心がけている。	A	6
B) 子どもの表情や姿をよく観察し、その場に適した言葉がけをするよう心がけていない。	B	1
子どもが、見たり、考えたりしたことなどを、自分なりに言葉で表現しようとするよう援助していますか。	未	2
A) 子どもが、見たり、考えたりしたことなどを、自分なりに言葉で表現しようとするよう援助している。	A	6
B) 子どもが、見たり、考えたりしたことなどを、自分なりに言葉で表現しようとするよう援助していない。	B	1
子どもが話しているときに、視線を合わせて、最後までゆったりと聞くよう心がけていますか。	未	2
A) 子どもが話しているときに、視線を合わせて、最後までゆったりと聞くよう心がけている。	A	6
B) 子どもが話しているときに、視線を合わせて、最後までゆったりと聞くよう心がけていない。	B	1
子どもの気持ちに寄り添いながら疑問や質問に答えたり、一緒に考えるよう心がけていますか。	未	2
A) 子どもの気持ちに寄り添いながら疑問や質問に答えたり、一緒に考えるよう心がけている。	A	7
B) 子どもの気持ちに寄り添いながら疑問や質問に答えたり、一緒に考えるよう心がけていない。	B	0
子どもに親しみを持って挨拶したり、子ども自ら挨拶しようとする機会や雰囲気を作るよう心がけていますか。	未	2
A) 子どもに親しみを持って挨拶したり、子ども自ら挨拶しようとする機会や雰囲気を作るよう心がけている。	A	7
B) 子どもに親しみを持って挨拶したり、子ども自ら挨拶しようとする機会や雰囲気を作るよう心がけていない。	B	0
絵本の読み聞かせなどを通して、言葉への興味や関心を育てるよう心がけていますか。	未	2
A) 絵本の読み聞かせなどを通して、言葉への興味や関心を育てるよう心がけている。	A	5
B) 絵本の読み聞かせなどを通して、言葉への興味や関心を育てるよう心がけていない。	B	2
子どもが、歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりして、表現の楽しさに気付くよう配慮していますか。	未	2
A) 子どもが、歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりして、表現の楽しさに気付くよう配慮している。	A	6
B) 子どもが、歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりして、表現の楽しさに気付くよう配慮していない。	B	1
子どもが、感じたことや考えたことなどを音や動きで表現できるよう工夫していますか。	未	2
A) 子どもが、感じたことや考えたことなどを音や動きで表現できるよう工夫している。	A	5
B) 子どもが、感じたことや考えたことなどを音や動きで表現できるよう工夫していない。	B	2
子どもの表現を受けとめ、共感し、子どもが表現することの楽しさを味わえるよう配慮していますか。	未	2
A) 子どもの表現を受けとめ、共感し、子どもが表現することの楽しさを味わえるよう配慮している。	A	7
B) 子どもの表現を受けとめ、共感し、子どもが表現することの楽しさを味わえるよう配慮していない。	B	0
子どもの表現を、子どもの内面の表れとして理解しようと努めていますか。	未	2
A) 子どもの表現を、子どもの内面の表れとして理解しようと努めている。	A	6
B) 子どもの表現を、子どもの内面の表れとして理解しようと努めていない。	B	1
一人ひとりの子どもの心身の発達や活動の実態を踏まえた保育を行うよう配慮していますか。	未	2
A) 一人ひとりの子どもの心身の発達や活動の実態を踏まえた保育を行うよう配慮している。	A	6
B) 一人ひとりの子どもの心身の発達や活動の実態を踏まえた保育を行うよう配慮していない。	B	1
一人ひとりの子どものその時々のお気持ちを受けとめて保育を行うよう配慮していますか。	未	2
A) 一人ひとりの子どものその時々のお気持ちを受けとめて保育を行うよう配慮している。	A	6
B) 一人ひとりの子どものその時々のお気持ちを受けとめて保育を行うよう配慮していない。	B	1
一人ひとりの子どもが、主体的に活動し、意欲をもって活動できるよう配慮していますか。	未	2
A) 一人ひとりの子どもが、主体的に活動し、意欲をもって活動できるよう配慮している。	A	7
B) 一人ひとりの子どもが、主体的に活動し、意欲をもって活動できるよう配慮していない。	B	0

第3 保育の内容

評 価 項 目	評 価	
一人ひとりの乳児の発育や発達の状態をよく観察したうえで、常に体の状態を細かく観察していますか。	未	2
A) 一人ひとりの子どもの発育や発達の状態をよく観察したうえで、常に体の状態を細かく観察している。	A	5
B) 一人ひとりの子どもの発育や発達の状態をよく観察したうえで、常に体の状態を細かく観察していない。	B	2
乳児のしぐさや声を介して発する欲求を察知し、タイミングよく応答していますか。	未	2
A) 乳児のしぐさや声を介して発する欲求を察知し、タイミングよく応答している。	A	7
B) 乳児のしぐさや声を介して発する欲求を察知し、タイミングよく応答していない。	B	0
乳児をあやしたり、抱いたりして、乳児が人に触れられて心地よいと感じる関わりをしていますか。	未	2
A) 乳児をあやしたり、抱いたりして、乳児が人に触れられて心地よいと感じる関わりをしている。	A	7
B) 乳児をあやしたり、抱いたりして、乳児が人に触れられて心地よいと感じる関わりをしていない。	B	0
1～2歳児の基本的な生活習慣の習得については、一人ひとりの子どもの発達過程に応じて行っていますか。	未	2
A) 1～2歳児の基本的な生活習慣の習得については、一人ひとりの子どもの発達過程に応じて行っている。	A	6
B) 1～2歳児の基本的な生活習慣の習得については、一人ひとりの子どもの発達過程に応じて行っていない。	B	1
1～2歳児が、楽しい雰囲気の中で、自分で食事をしようとする気持ちを大切にしていますか。	未	2
A) 1～2歳児が、楽しい雰囲気の中で、自分で食事をしようとする気持ちを大切にしている。	A	7
B) 1～2歳児が、楽しい雰囲気の中で、自分で食事をしようとする気持ちを大切にしていない。	B	0
1～2歳児が、ゆったりとした気持ちで自分から便器に座ったり排泄したりできるよう配慮していますか。	未	2
A) 1～2歳児が、ゆったりとした気持ちで自分から便器に座ったり排泄したりできるよう配慮している。	A	6
B) 1～2歳児が、ゆったりとした気持ちで自分から便器に座ったり排泄したりできるよう配慮していない。	B	1
1～2歳児の衣類の着脱にあたって、丁寧にやり方を教え、自分でしようとする気持ちを尊重していますか。	未	2
A) 1～2歳児の衣類の着脱にあたって、丁寧にやり方を教え、自分でしようとする気持ちを尊重している。	A	7
B) 1～2歳児の衣類の着脱にあたって、丁寧にやり方を教え、自分でしようとする気持ちを尊重していない。	B	0
1～2歳児の子どもの意欲や自分でやりたいという気持ちを尊重しながら、適切な援助を行っていますか。	未	2
A) 1～2歳児の子どもの意欲や自分でやりたいという気持ちを尊重しながら、適切な援助を行っている。	A	7
B) 1～2歳児の子どもの意欲や自分でやりたいという気持ちを尊重しながら、適切な援助を行っていない。	B	0
3～5歳児が、生活に必要な習慣や態度を身に付け、適切な行動を選択できるよう配慮していますか。	未	3
A) 3～5歳児が、生活に必要な習慣や態度を身に付け、適切な行動を選択できるよう配慮している。	A	5
B) 3～5歳児が、生活に必要な習慣や態度を身に付け、適切な行動を選択できるよう配慮していない。	B	1
3～5歳児が、決まりがあることの大切さに気付き、自ら判断して行動できるよう配慮していますか。	未	3
A) 3～5歳児が、決まりがあることの大切さに気付き、自ら判断して行動できるよう配慮している。	A	4
B) 3～5歳児が、決まりがあることの大切さに気付き、自ら判断して行動できるよう配慮していない。	B	2
3～5歳児が、感じたことや想像したことなどを表現できるよう、様々な環境の設定に留意していますか。	未	3
A) 3～5歳児が、感じたことや想像したことなどを表現できるよう、様々な環境の設定に留意している。	A	3
B) 3～5歳児が、感じたことや想像したことなどを表現できるよう、様々な環境の設定に留意していない。	B	3
3～5歳児にとって、保育所の保育が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに留意していますか。	未	3
A) 3～5歳児にとって、保育所の保育が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに留意している。	A	4
B) 3～5歳児にとって、保育所の保育が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに留意していない。	B	2
障害のある子どもがいる場合、その子どもの特性に合わせた個別支援のための計画を立てていますか。	未	3
A) 障害のある子どもの特性に合わせた個別支援のための計画を立てている。	A	3
B) 障害のある子どもの特性に合わせた個別支援のための計画を立てていない。	B	3
障害のある子どもがいる場合、その子どもの保育に必要な知識を得よう努めていますか。	未	3
A) 障害のある子どもの保育に必要な知識を得よう努めている。	A	6
B) 障害のある子どもの保育に必要な知識を得よう努めていない。	B	0

第4 保育の計画及び評価

評価項目	評価	
保育所の保育課程を理解していますか。	未	3
A) 園の保育課程を理解している。	A	5
B) 園の保育課程を理解していない。	B	1
指導計画を作成する際、保育課程に基づいて作成していますか。	未	3
A) 指導計画を作成する際、保育課程に基づいて作成している。	A	4
B) 指導計画を作成する際、保育課程に基づいて作成していない。	B	2
指導計画を作成する際、長期的な指導計画と短期的な指導計画を作成していますか。	未	3
A) 指導計画を作成する際、長期的な指導計画と短期的な指導計画を作成している。	A	3
B) 指導計画を作成する際、長期的な指導計画と短期的な指導計画を作成していない。	B	3
指導計画を作成する際、一人ひとりの子どもの状態を踏まえ、個別的に作成していますか。	未	3
A) 指導計画を作成する際、一人ひとりの子どもの状態を踏まえ、個別的に作成している。	A	3
B) 指導計画を作成する際、一人ひとりの子どもの状態を踏まえ、個別的に作成していない。	B	3
指導計画に子どもの発達過程などを見通した具体的な「ねらい」と「内容」を設定していますか。	未	3
A) 指導計画に子どもの発達過程などを見通した考慮した具体的な「ねらい」と「内容」を設定している。	A	5
B) 指導計画に子どもの発達過程などを見通した具体的な「ねらい」と「内容」を設定していない。	B	1
指導計画に子どもの活動の展開に合わせた援助の仕方が具体的に書き込まれていますか。	未	3
A) 指導計画に子どもの活動の展開に合わせた援助の仕方が具体的に書き込まれている。	A	5
B) 指導計画に子どもの活動の展開に合わせた援助の仕方が具体的に書き込まれていない。	B	1
子どもの発達、興味、関心に基づいて指導計画を見直し、次の指導計画の作成に生かしていますか。	未	3
A) 子どもの発達、興味、関心に基づいて指導計画を見直し、次の指導計画の作成に生かしている。	A	4
B) 子どもの発達、興味、関心に基づいて指導計画を見直し、次の指導計画の作成に生かしていない。	B	2
自身の保育を振り返り、反省や評価を行い、次の指導計画の作成に生かしていますか。	未	3
A) 自身の保育を振り返り、反省や評価を行い、次の指導計画の作成に生かしている。	A	6
B) 自身の保育を振り返り、反省や評価を行い、次の指導計画の作成に生かしていない。	B	0

第5-1 健康及び安全（子どもの健康支援）

評価項目	評価	
子どもの日々の健康状態を把握し、一人ひとりの保育に生かしていますか。	未	2
A) 子どもの日々の健康状態を把握し、一人ひとりの保育に生かしている。	A	7
B) 子どもの日々の健康状態を把握し、一人ひとりの保育に生かしていない。	B	0
子どもの健康診断の結果などから、子どもの発育状況を把握し、一人ひとりの保育に生かしていますか。	未	2
A) 子どもの健康診断の結果などから、子どもの発育状況を把握し、一人ひとりの保育に生かしている。	A	6
B) 子どもの健康診断の結果などから、子どもの発育状況を把握し、一人ひとりの保育に生かしていない。	B	1
子どもの健康診断の結果などを、他の職員と共有していますか。	未	2
A) 子どもの健康診断の結果などを、他の職員と共有している。	A	7
B) 子どもの健康診断の結果などを、他の職員と共有していない。	B	0
感染症に対する園の方針などを理解していますか。	未	2
A) 感染症に対する園の対応方針などを理解している。	A	7
B) 感染症に対する園の対応方針などを理解していない。	B	0
感染症に関する知識を持ち、その症状や流行時期などを把握していますか。	未	2
A) 感染症に関する知識を持ち、その症状や流行時期などを把握している。	A	7
B) 感染症に関する知識を持ち、その症状や流行時期などを把握していない。	B	0

第5-1 健康及び安全（子どもの健康支援）

評 価 項 目	評 価	
一人ひとりの子どもの予防接種歴や感染症の罹患歴を把握していますか。	未	2
A) 一人ひとりの子どもの予防接種歴や感染症の罹患歴を把握している。	A	2
B) 一人ひとりの子どもの予防接種歴や感染症の罹患歴を把握していない。	B	5
保育中に、感染症の疑いのある子どもを発見した際、他の子どもと接触することのないよう配慮していますか。	未	2
A) 保育中に、感染症の疑いのある子どもを発見した際、他の子どもと接触することのないよう配慮している。	A	7
B) 保育中に、感染症の疑いのある子どもを発見した際、他の子どもと接触することのないよう配慮していない。	B	0
保護者から与薬の要請を受ける場合や子どもに与薬する場合の対応方法を理解していますか。	未	2
A) 保護者から与薬の要請を受ける場合や子どもに与薬する場合の対応方法を理解している。	A	7
B) 保護者から与薬の要請を受ける場合や子どもに与薬する場合の対応方法を理解していない。	B	0
慢性疾患を持つ子どもがいる場合、その子どもの保育に必要な知識を得よう努めていますか。	未	2
A) 慢性疾患を持つ子どもがいる場合、その子どもの保育に必要な知識を得よう努めている。	A	6
B) 慢性疾患を持つ子どもがいる場合、その子どもの保育に必要な知識を得よう努めていない。	B	1
午睡中、子どもの顔色や呼吸の状態をきめ細かく観察していますか。	未	2
A) 午睡中、子どもの顔色や呼吸の状態をきめ細かく観察している。	A	7
B) 午睡中、子どもの顔色や呼吸の状態をきめ細かく観察していない。	B	1

第5-2 健康及び安全（環境及び衛生管理）

評 価 項 目	評 価	
衛生管理に対する園の方針などを理解していますか。	未	2
A) 衛生管理に対する園の対応方針などを理解している。	A	6
B) 衛生管理に対する園の対応方針などを理解していない。	B	1
保育に従事する者として、服装や身支度に配慮し、自らの健康と清潔を常に心がけていますか。	未	2
A) 保育に従事する者として、服装や身支度に配慮し、自らの健康と清潔を常に心がけている。	A	7
B) 保育に従事する者として、服装や身支度に配慮し、自らの健康と清潔を常に心がけていない。	B	0
子どもが活動しやすいように、保育室内の温度や湿度に配慮していますか。	未	2
A) 子どもが活動しやすいように、保育室内の温度や湿度に配慮している。	A	7
B) 子どもが活動しやすいように、保育室内の温度や湿度に配慮していない。	B	0
保育室、トイレなどを適宜清掃し、常に清潔を保つようにしていますか。	未	2
A) 保育室、トイレなどを適宜清掃し、常に清潔を保つようにしている。	A	7
B) 保育室、トイレなどを適宜清掃し、常に清潔を保つようにしていない。	B	0
子どもが使用する玩具などを適宜消毒し、常に清潔を保つようにしていますか。	未	2
A) 子どもが使用する玩具などを適宜消毒し、常に清潔を保つようにしている。	A	7
B) 子どもが使用する玩具などを適宜消毒し、常に清潔を保つようにしていない。	B	0
おむつの交換や嘔吐物などの処理の際、手洗いや使い捨て手袋の使用など、衛生に配慮していますか。	未	2
A) おむつの交換や嘔吐物の処理などの際、手洗いや使い捨て手袋の使用など、衛生に配慮している。	A	7
B) おむつの交換や嘔吐物の処理などの際、手洗いや使い捨て手袋の使用など、衛生に配慮していない。	B	0

第5-3 健康及び安全（事故防止及び安全管理）

評 価 項 目	評 価	
事故防止や安全管理に対する園の方針などを理解していますか。	未	2
A) 事故防止や安全管理に対する園の対応方針などを理解している。	A	6
B) 事故防止や安全管理に対する園の対応方針などを理解していない。	B	1
園内の設備、玩具、用具などを定期的に点検していますか。	未	2
A) 園内の設備、玩具、用具などを定期的に点検している。	A	7
B) 園内の設備、玩具、用具などを定期的に点検していない。	B	0
日常的に利用する散歩経路や公園などの異常や危険性などを定期的に点検していますか。	未	2
A) 日常的に利用する散歩経路や公園などの異常や危険性などを定期的に点検している。	A	4
B) 日常的に利用する散歩経路や公園などの異常や危険性などを定期的に点検していない。	B	3
事故が発生した場合の対応方法を理解していますか。	未	2
A) 事故が発生した場合の対応方法を理解している。	A	7
B) 事故が発生した場合の対応方法を理解していない。	B	0
乳児に起こりやすい事故やその特徴を把握していますか。	未	2
A) 乳児に起こりやすい事故やその特徴を把握している。	A	7
B) 乳児に起こりやすい事故やその特徴を把握していない。	B	0
1～2歳児に起こりやすい事故やその特徴を把握していますか。	未	2
A) 1～2歳児に起こりやすい事故やその特徴を把握している。	A	7
B) 1～2歳児に起こりやすい事故やその特徴を把握していない。	B	0
災害に対する園の方針などを理解していますか。	未	2
A) 災害に対する園の対応方針などを理解している。	A	6
B) 災害に対する園の対応方針などを理解していない。	B	1
災害が発生した場合の対応方法を理解していますか。	未	2
A) 災害が発生した場合の対応方法を理解している。	A	7
B) 災害が発生した場合の対応方法を理解していない。	B	0

第5-4 健康及び安全（食育の推進）

評 価 項 目	評 価	
食事が保育の内容の一環であり、食育として位置づけられていることを理解していますか。	未	0
A) 食事が保育の内容の一環であり、食育として位置づけられていることを理解している。	A	9
B) 食事が保育の内容の一環であり、食育として位置づけられていることを理解していない。	B	0
子どもが落ち着いて食事やおやつを楽しめるよう配慮していますか。	未	0
A) 子どもが落ち着いて食事やおやつを楽しめるよう配慮している。	A	8
B) 子どもが落ち着いて食事やおやつを楽しめるよう配慮していない。	B	1
自身が感謝の気持ちを持って食事をするよう努めていますか。	未	0
A) 自身が感謝の気持ちを持って食事をするよう努めている。	A	7
B) 自身が感謝の気持ちを持って食事をするよう努めていない。	B	2
食事の際、子ども同士が会話をするなど、楽しんで食べることができる雰囲気づくりに配慮していますか。	未	1
A) 食事の際、子ども同士が会話をするなど、楽しんで食べることができる雰囲気づくりに配慮している。	A	7
B) 食事の際、子ども同士が会話をするなど、楽しんで食べることができる雰囲気づくりに配慮していない。	B	1
子どもが、食材や調理をする人への感謝の気持ちが育つよう配慮していますか。	未	1
A) 子どもが、食材や調理をする人への感謝の気持ちが育つよう配慮している。	A	8
B) 子どもが、食材や調理をする人への感謝の気持ちが育つよう配慮していない。	B	0

第5-4 健康及び安全（食育の推進）

評価項目	評価	
食事の食べ具合などを、必要に応じて保護者に伝えていますか。	未	2
A) 食事の食べ具合などを、必要に応じて保護者に伝えている。	A	7
B) 食事の食べ具合などを、必要に応じて保護者に伝えていない。	B	0

第6 保護者に対する支援

評価項目	評価	
送迎の際など、保護者と積極的に言葉を交わしていますか。	未	2
A) 送迎の際など、保護者と積極的に言葉を交わしている。	A	7
B) 送迎の際など、保護者と積極的に言葉を交わしていない。	B	0
送迎の際の会話や連絡帳を活用して、保育の内容や子どもの様子などを保護者に伝えていますか。	未	2
A) 送迎の際の会話や連絡帳を活用して、保育の内容や子どもの様子などを保護者に伝えている。	A	7
B) 送迎の際の会話や連絡帳を活用して、保育の内容や子どもの様子などを保護者に伝えていない。	B	0
保護者との交流の中で、子どもへの愛情と成長を喜ぶ気持ちを保護者と共有できるよう努めていますか。	未	2
A) 保護者との交流の中で、子どもへの愛情と成長を喜ぶ気持ちを保護者と共有できるよう努めている。	A	7
B) 保護者との交流の中で、子どもへの愛情と成長を喜ぶ気持ちを保護者と共有できていない。	B	0
保護者が子育ての悩みなどを安心して話せる存在となれるよう努めていますか。	未	2
A) 保護者が子育ての悩みなどを安心して話せる存在となれるよう努めている。	A	7
B) 保護者が子育ての悩みなどを安心して話せる存在となれるよう努めていない。	B	0
保護者の子どもに対する虐待の早期発見に努めていますか。	未	2
A) 保護者の子どもに対する虐待の早期発見に努めている。	A	7
B) 保護者の子どもに対する虐待の早期発見に努めていない。	B	0
保護者に不適切な養育や虐待などが疑われる場合の対応について理解していますか。	未	2
A) 保護者に不適切な養育や虐待などが疑われる場合の対応について理解している。	A	6
B) 保護者に不適切な養育や虐待などが疑われる場合の対応について理解していない。	B	1

第7 職員の資質向上（職員の研修等）

評価項目	評価	
自身の人間性や倫理観が子どもに影響を与えることを自覚していますか。	未	0
A) 自身の人間性や倫理観が子どもに影響を与えることを自覚している。	A	9
B) 自身の人間性や倫理観が子どもに影響を与えることを自覚していない。	B	0
園内で行われる研修や会議に積極的に参加していますか。	未	0
A) 園内で行われる研修や会議に積極的に参加している。	A	8
B) 園内で行われる研修や会議に積極的に参加していない。	B	1
園外で行われる研修に自発的に参加していますか。	未	0
A) 園外で行われる研修に自発的に参加している。	A	5
B) 園外で行われる研修に自発的に参加していない。	B	4
自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決に取り組んでいますか。	未	0
A) 自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決に取り組んでいる。	A	8
B) 自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決に取り組んでいない。	B	1
保育に関する専門書や関係書を読むなどして、保育に関する知識を習得するよう努めていますか。	未	0
A) 保育に関する専門書や関係書を読むなどして、保育に関する知識を習得するよう努めている。	A	9
B) 保育に関する専門書や関係書を読むなどして、保育に関する知識を習得するよう努めていない。	B	0

第7 職員の資質向上（職員の研修等）

評 価 項 目	評 価	
自身の保育について、管理者からの意見や指導があった場合に、感情的にならず謙虚に受け止められますか。	未	0
A) 自身の保育について、管理者からの意見や指導があった場合に、感情的にならず謙虚に受け止められる。	A	9
B) 自身の保育について、管理者からの意見や指導があった場合に、感情的にならず謙虚に受け止められない。	B	0
職員会議などで決定した方針が、自身の意見と違うときも、それに従って気持ちよく協力していますか。	未	0
A) 職員会議などで決定した方針が、自身の意見と違うときも、それに従って気持ちよく協力している。	A	9
B) 職員会議などで決定した方針が、自身の意見と違うときも、それに従って気持ちよく協力していない。	B	0
保育所の自己評価の結果を公表するよう努めなければならないとされていることを理解していますか。	未	0
A) 保育所の自己評価の結果を公表するよう努めなければならないとされていることを理解している。	A	8
B) 保育所の自己評価の結果を公表するよう努めなければならないとされていることを理解していない。	B	1

○保育実践における保育の気づきと振り返り

- ・ 学習内容を子どもの成長に合わせて考えてやっていたが、他の職員のやり方など自分には思いつかないアイデアなども見れて、それぞれの良い所などを知る事が出来た。
- ・ 子どもへの声掛けの仕方、その日の状況で上手く行く時、行かない時など反応が様々で状況を見極める力が改めて大事だと気付いた。子どもと関わる際に、保育に適した様々な環境作りが大切だと感じた。子ども一人ひとりの特徴を知って、その子に合った声掛け、関りを考えていく。
- ・ 子どもへの対応の仕方など、会議やミーティングで話し、他の指導員や職員からも意見を聞いて対応の仕方を話すことができた。
- ・ 保育内容を振り返り、努めて行っているつもりでいたが、しっかりとおこなえているという自信は無いと感じた。
- ・ 子ども一人ひとりに合わせた援助や環境を提供し、安心して主体的に活動が行えるよう配慮していきたいと思った。
- ・ 子ども個人の気持ちに寄り添えるように努力しているものの、まだまだ発達段階を交えた声掛けが不十分だと感じた。
- ・ 散歩や季節の行事を通して、子ども達の体験、経験の機会に繋がる様な内容を取り入れる事が出来た。
- ・ 異年齢児全体で活動や遊びの時間を過ごし、やり取りを楽しめる様子が見られた
- ・ 子どもが自主的に意欲のある遊びに取り組める様に配慮できた。
- ・ 慣れ、人慣れに対するの援助も、一人一人の様子や発達を捉えながら保育できた

○今後の課題と取り組み

- ・ 子どもの成長や年間計画などしっかり学び、学習内容を考えていける力を身につけて行く。
- ・ 他の職員と子どもの様子、関り方など共有していく機会を多く持ち、連携して関わっていく。
- ・ 自分自身のスキルアップを目指すためにも、研修を受けたり、情報共有をしていけるように心がける
- ・ 子どもの命を守りながら事故や怪我の内容に。
- ・ 当たり前を忘れず、日々安全を確保しながら保育をしていく。その子にとって何が一番良いのか考えて援助していきたい。
- ・ 子ども一人ひとりの発達状態や体調面を細かく見ていき、それぞれに合わせた援助を行っていきたい。
- ・ また、一人ひとり丁寧に関わっていくと共に、集団生活の大切さ、楽しさも伝えていきたいと思った。
- ・ 研修や専門書を読むなどし、積極的に保育に関する知識を深めていきたい。
- ・ 発達段階学習は行えているものの、実際の保育に結びつけられていないため、すり合わせつつ落とし込める様に務める。
苦手な食べ物が多かったり、食べる事や物自体に興味がない子もいるので、給食に興味を持ってもらい、食べる事の楽しさを教えてあげたいと考えています。
- ・ 安心して安全な給食を提供できる様努めたいと思います。
- ・ 学習や活動を個々の年齢に合わせた内容を工夫して取り組んでいく。
- ・ 保育者間で連携を取り、全体で個々に寄り添った保育を行えるように対応していく。
- ・ 新入園児も園での生活に慣れてきたので、一人一人の特性を把握しながら適切な援助と自立への手立てになる様、保育をしていきたい。

○今後の目標（園全体で話し合い、目標を決める）

- ・ 職員間で連携、情報共有し事故の内容に保育を行なう。
- ・ 発達の先生とも連携していきたい。
- ・ 発達段階を意識して関わる。
保育士の先生方と連携を取りながら、子ども達が苦手な食べ物を克服できるお手伝いが出来る様、調理法を工夫したり食育などを通し、食べ物自体に興味を持ってもらえるような給食作りを目指していきたいと考えています。
- ・ それぞれ一人一人の成長発達を捉えながら、最善の利益を考慮し、一人一人の子どもの伸び行く力や可能性を信じ、養護と教育を一体に出来ない、生きる力の基礎を培うことのできるよう目指す。
- ・

